

第38回 区民会議交流会への参加

平成 24 年 11 月 30 日(金)に区民会議交流会が波止場会館にて開催され、神奈川区民協議会も参加しました。今年は、「自分たちのまちは自分たちでつくろう」をテーマに横浜市の 9 区が参加しました。現在も区民会議として活動している神奈川区、保土ヶ谷区、港北区、青葉区の 4 区と、過去に区民会議として活動し、現在は区から離れて活動している港南区、金沢区、緑区、中区、旭区の 5 区も参加して、他の区との交流を深めました。



第 1 部では、現在区民会議として活動している 4 区の活動報告を行いました。神奈川区の発表は、島田部会長より「いざという時に機能する防災拠点とは…」というテーマで、防災に関する学習や調査、被災地の視察を通して見えてきた、

- ① 備蓄品
- ② 運営委員の選出
- ③ 役立つ防災訓練
- ④ 図上訓練

についての活動内容を発表しました。

発表後の質問タイムでは、既存の団体(学校、町内会など)との連携の現状や行政への提言方法、災害時の区境の問題などについてご質問やご意見をいただきました。

第 2 部では、活動報告を行った 4 区を中心としたグループに分かれて意見交換を行いました。神奈川区のテーブルでは、第 1 部でも質問のあった災害時の区境の問題や町会と拠点とのすみわけ、津波や液状化被害に対する備蓄庫の適正な設置場所の問題、さらには防災訓練を通じて、拠点との連携をしながらも自助の大切さや、自治体単位の活動の重要性が再認識されたなど、大変多くのご質問やご意見をいただきました。



第 17 期神奈川区民協議会は、新しいメンバーによる活動が始まったばかりです。今回の区民会議交流会でいただいたご意見や他区の取り組み事例などを参考にしながら、今後の成果に繋がられるよう、神奈川区民協議会一同がんばっていきたいと思います。